

LIXILプラスチック行動宣言

「一歩先へ。未来の暮らしと地球のために」

毎日10億人が利用する水まわり製品や住宅建材を提供するメーカーとして、プラスチックをはじめとする資源の行く末について考えることから始めています。世界中に広がる全事業所においてプラスチックを含む資源の持続性を追求し、環境負荷の少ない製品設計や代替素材のイノベーションを通して資源循環型社会の実現に貢献することをここに宣言します。



プラスチックとの向き合い方を変えます

プラスチックに代わる再生可能な素材を活用したイノベーションを加速させ、代替素材を積極的に採用することで、容器包装や物流梱包などの使用期間の短いプラスチックから使用場面を減らし、環境への負荷を最小限に抑えます。



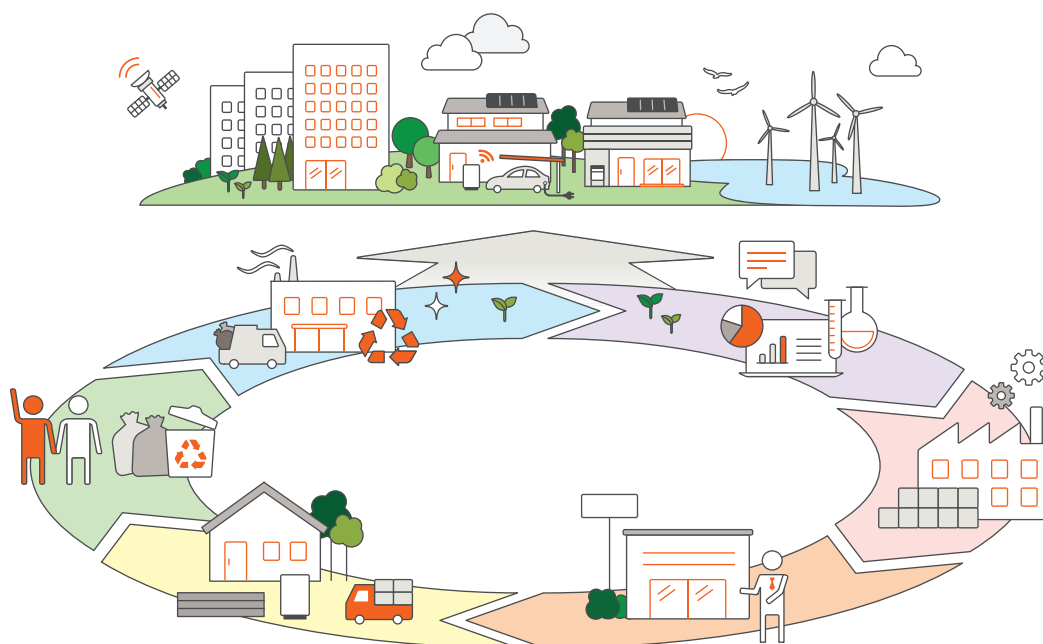
プラスチック資源の循環利用を促進する製品・サービスを提供します

原材料の調達、製造に加えて、私たちの製品やサービスがお客様のもとで使用されている間や役目を終えた後までを見据えて、地球環境に配慮した製品設計やものづくりを推進し、資源循環型の暮らしの実現に貢献します。



従業員、ビジネスパートナーやエンドユーザーとの協働を推進します

従業員をはじめ、お客様や地域社会、企業などのビジネスパートナーと協働し、問題を正しく理解し、プラスチックの使用量削減や再利用、適切な回収・リサイクルなど、プラスチックの循環利用に向けた取り組みの輪を広げていきます。

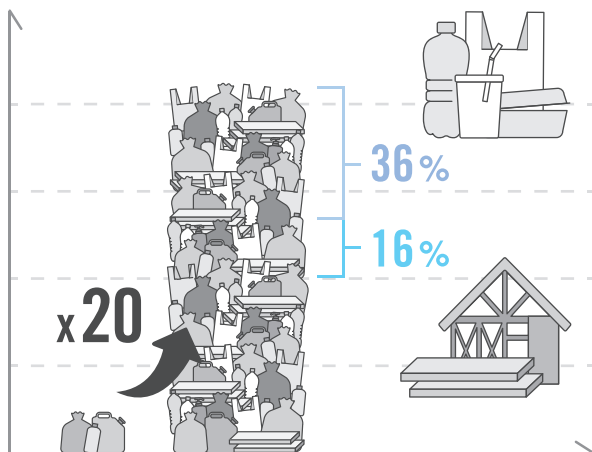


私たちが使うプラスチックが未来の地球に与える影響を知っていますか？

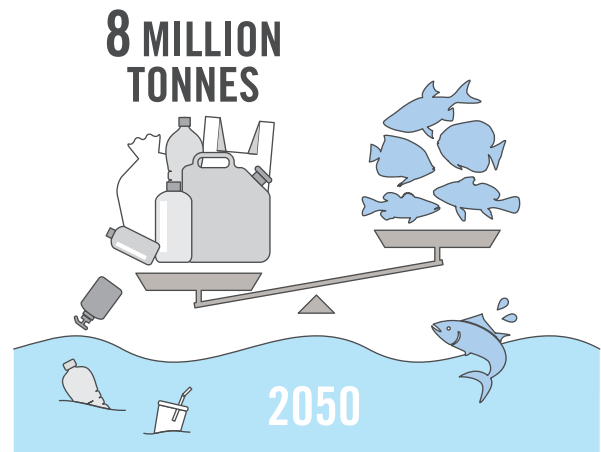
プラスチックは加工がしやすく、丈夫であることから、LIXIL製品の素材として多く使用されています。また軽くて耐久性に優れているため、効率的に輸送し、商品を保護するパッケージとしても重要な役割を担っている資源です。

しかし、現代の生活に根付いているプラスチックを製造する過程で発生するCO₂や使用後の廃棄による環境汚染が世界的な問題となっています。また、プラスチックの原料となる石油を含む資源の消費量は2050年までに現在の2倍以上になることが予想され、これまでのような大量に採掘・廃棄する一方通行の消費を続けることはできません。

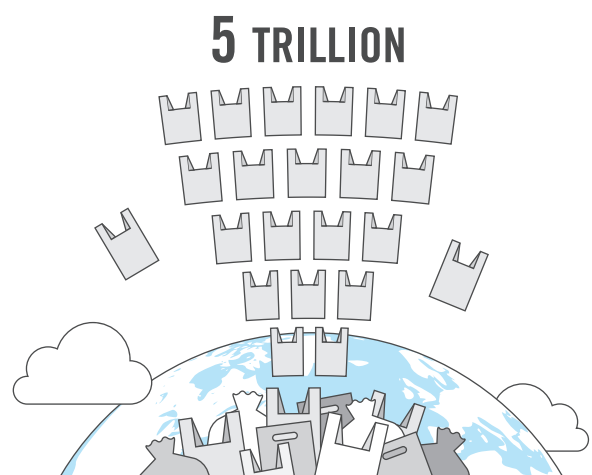
LIXILでは事業プロセスおよび製品やサービスにおける資源の利用について問い直すことから始めています。プラスチックを含む資源の持続性を追求し、環境負荷を低減した製品設計や、使用後の循環利用が可能なプロセスを構築することで、資源循環型経済（サーキュラーエコノミー）の実現へ貢献していきます。



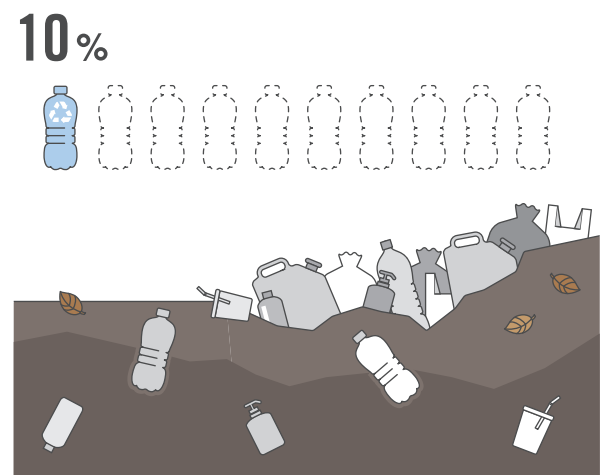
プラスチックの年間生産量は過去50年で20倍に増大しました。その用途として、容器包装が36%、建材が16%となっています。



毎年、800万トンものプラスチックごみが海洋に流出しています。このままでは2050年には魚の量を超えるとされています。



私たちが日々使っているプラスチックの50%は使い捨てです。毎年、世界では5兆枚のビニール袋が使われています。



プラスチックごみは10%しかリサイクルされていません。容易には自然分解されず、多くが数百年間以上もの間、残り続けます。